



協力とウィンウィン、共同発展 —より緊密な東アジア運命共同体の構築 ～第23回日中韓3か国地方政府交流会議より～

(一財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課

交流会議の概要

2022年11月4日に「第23回日中韓3か国地方政府交流会議」が開催されました。

当会議は、日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的として、自治体国際化協会、中国人民対外友好協会、大韓民国市道知事協議会が1999年より輪番制で毎年開催しています。

今回は中国人民対外友好協会および中国江西省人民政府が主催となり、中国江西省での現地開催とオンライン開催の併用による、ハイブリッド形式で行われました。

日本からは144人の参加申込があり、中国・韓国と併せて約700人が参加する大規模な会議となりました。



本会議の様子

基調講演

中国情報通信研究院デジタル経済・工業経済分野 李立委 (リ・リツイ) 主任から、「デジタル経済と重点分野の発展分析」をテーマに基調講演がありました。

テーマ発表

3か国の代表者が、メインテーマ「協力とウィンウィン、共同発展—より緊密な東アジア運命共同体の構築」について発表を行いました。

日本からは、岡山県の伊原木知事に、県内企業の海外事業展開状況や中国江西省・韓国慶尚南道などの友好交流などについてご紹介いただきました。雨の日が日本一少ない「晴れの国」であることや交通の利便性、岡山

後楽園や瀬戸内の風景・食、岡山デニムなど岡山県の魅力溢れるご発表となりました。



テーマ発表を行う岡山県 伊原木 隆太知事

中国遼寧省からは、神奈川県、富山県、韓国京畿道などの日本・韓国との友好交流が双方の経済と文化交流を促進しているとの紹介があり、今後の日中韓の友好交流の深化と協力分野の拡大による3か国のさらなる発展への期待を述べました。

韓国成均館大学中国大学院金鏞准 (キム・ヨンジュン) 教授は、世論調査結果から今後の共同発展には市民の相互好感度の向上が必要であるとし、さらなる交流の促進を提案しました。

議題発表

3つの議題について、3か国計12人の代表者が各地方政府の取り組みについて発表しました。

【議題1 医療協力と健康養老】

中国からは、四川省樂山市が、健康と療養を融合し豊かな自然を活かしたヘルスツーリズムの取り組みを紹介しました。続いて、天津市静海区が、中日健康産業発展協力モデル区やコロナ禍での物資支援協力について紹介し、医薬品・医療機器・再生医学の分野での協力への期待を強調しました。

韓国からは、釜山市西区が、大型医療インフラと観光資源を活かした医療観光特区の取り組みと、日本・中国との医療協力や人的交流などを紹介しました。



日本からは、岐阜県各務原市の小鍋副市長に、高齢者人口の一層の増加が見込まれる中で健康長寿を目指す「フレイル予防」と、その推進に向けた自助と共助を高めるまちづくりについてご紹介いただきました。

【議題2 省エネ環境保護とグリーン低炭素】

韓国からは、全羅南道が、風力・太陽光発電やグリーン水素など、カーボンニュートラルに向けたグローバルエネルギー新産業への取り組みを紹介しました。

日本からは、北九州市の北橋市長に、グリーン成長実現に向けた「エネルギーの脱炭素化」と「イノベーションの推進」の重要性と、また、市の具体的な取り組みである水素技術実証支援や風力発電関連産業拠点形成、環境国際協力などについてご紹介いただきました。

中国からは、江西省景德鎮市が、生態環境保全のための管理体制の構築や、住みやすいグリーンなまちづくりの取り組みを発表しました。また、寧夏回族自治区が、砂漠産業や白芨灘（はくきゅうたん）国家自然保護区の砂漠緑化の取り組みについて発表し、日本や韓国からの訪問団と植樹を通じた交流を行っているとの紹介がありました。

【議題3 デジタル経済とスマートシティ】

韓国からは、世宗市が、スマートシティ国家モデル都市として市全域で提供するモビリティ、データ、ヘルスケアなどのサービスを紹介しました。

日本からは、福島県会津若松市の室井市長に、「スマートシティ会津若松」の取り組みをご紹介いただき、多種多様な分野の取り組みを並行して推進しながら一体性を持たせるため地域での共通ルールを定めていることや、地域・市民・企業にメリット・納得感がある「三方よし」の重要性についてお話いただきました。

中国からは、甘肅省敦煌市が、鳴沙月泉などの世界的な文化芸術資源のデジタル化などの情報産業と文化観光産業を融合させたスマート観光の取り組みを紹介した後、重慶市沙坪壩区が、重慶市スマートタウン建設における新エネルギー自動車産業とバイオ医薬品産業のスマート化の推進について発表しました。

交流の広場

本会議終了後、日中韓地方政府の実務者が Zoom を利用して1対1の交流を行う「交流の広場」が開催され、日本からは計11自治体が参加しました。

本会議 講演内容 [11月4日(金)]

基調講演「デジタル経済と重点分野の発展分析」

発表者：李 立委

(中国情報通信研究院デジタル経済・工業経済分野 主任)

主旨講演「協力とウィンウィン、共同発展

—より緊密な東アジア運命共同体の構築—

【日本】岡山県知事 伊原木 隆太

【中国】遼寧省副省長 陳 緑平

【韓国】成均館大学中国大学院教授 金 鏞准

議題講演1「医療協力と健康養老」

【中国】四川省樂山市党委書記 馬 波

天津市静海区長 曲 海富

【韓国】釜山市西区長 孔 漢寿

【日本】岐阜県各務原市副市長 小鍋 泰弘

議題講演2「省エネ環境保護とグリーン低炭素」

【韓国】全羅南道エネルギー産業局長 姜 相求

【日本】北九州市長 北橋 健治

【中国】江西省景德鎮市長 胡 雪梅

寧夏回族自治区外事弁公室主任 白 玉珍

議題講演3「デジタル経済とスマートシティ」

【韓国】世宗市未来戦略本部課長 李 中玄

【日本】福島県会津若松市長 室井 照平

【中国】甘肅省敦煌市長 朱 健軍

重慶市沙坪壩区常務副区長 陳 英

会議を終えて

新型コロナウイルス感染症の影響により直接の往来が難しい状況が続く中、日中韓3か国の地方政府関係者がオンライン上で集い、友好関係を再確認し今後の対面での交流再開に向けた思いを共有できたことは、今後の友好・協力関係の新たな発展に向けた良いきっかけとなったものと考えます。往来再開後の交流が一層発展することを期待したいと思います。

次回は山梨県で開催！

第24回当会議は、2023年に山梨県で開催されます。次回会議に関する情報は、随時当協会のホームページを通してご案内いたします。奮ってご参加ください。